

## 2014年度総会議案等に寄せられた質問等に対する回答並びに総会参加票に関するお願い

(公社) 日本気象学会理事会

会員の皆様のご協力のお陰で、2014年度総会は無事終了し、提案しました議案は、すべて承認されました。改めまして篤く御礼申し上げます。

会員の皆様からお送りいただきました総会参加票には、多数のご質問・ご意見等が記載されておりました。時間の関係で、総会の席上では、その1つ1つにお答えすることができませんでした。寄せられましたご質問やご意見等のうち、共通する項目、さらに、理事会で重要と判断いたしました項目につきまして、昨年度と同様に「天気」誌上に回答を掲載いたします。

理事会ではいただいた多くの貴重なご意見等を真摯に受け止め、学会運営に活かして行きたいと考えています。

また、今年度の総会におきまして、無効票が多数発生いたしました。これにつきましても、会員の皆様へご報告し、改めて注意喚起を行うとともに、理事会におきましても改善策を検討いたします。

### I 寄せられたご質問・ご意見等

#### 1. 事業計画と予算案を審議事項にすべきではないか。

回答

昨年度の総会参加票でも質問が寄せられており、「天気」2013年7月号で回答を掲載しております。以下、昨年度の回答を再度掲載いたします。

「新公益法人制度では、事業計画と予算案は社員総会の法定決議事項には含まれていません。この理由としては、新制度では、事業計画並びに予算案について、各事業年度開始の日の前日までに作成することとなっており、総会決議事項とすると、現在の年1回の総会開催体制では、事業年度開始の日の前日までに作成・決定することが不可能であります。従って、モデル定款、さらに多くの公益法人においては、事業計画並びに予算案は理事会承認事項としております。」(「天気」2013年7月号)

#### 2. 理事選任投票は無記名投票ではないか。

回答

議決権行使書面には社員氏名を記載することとされ

ています(公益法人法施行規則第7条)。

#### 3. 決算報告を分かりやすくする必要がある。

回答

昨年度の総会参加票でも同様の質問が寄せられております。書類等については、会員が明確に理解できるよう、一層の改善に努めます。

#### 4. 表彰については総会決議事項ではないか。

回答

表彰等の活動は事業計画で認められており、個々の表彰の実施内容については、理事会で慎重に審議し、理事の全員投票で決定されています。

#### 5. 会員数の減少に対する具体的な対策の検討を行うことを要望する。2014年度事業計画では抜本的対策がなされていない。

回答

会員数の増加対策については、理事会、支部長会議等でも検討を行っています。会員限定サービス、日本気象予報士会との連携、学生会員優遇策、気象庁職員の入会推進策等、種々の検討を行っています。良い方策等があれば、是非ご提示いただくようお願いいたします。

#### 6. 理事会について、シニアや若い世代を含むもっと多様な構成を望む。また、理事会の出席率が低いようである。

回答

理事会構成の多様化や世代交代は、学会活性化にとって重要であることから、今後も理事会等で議論を行っていきます。また、理事会についてはテレビ会議等を活用して、出席率の増加に努めています。

### II 総会参加票の無効票について

今年度の総会に関連して、会員から送付された総会参加票の約7%にあたる130票以上の無効票が発生しました(昨年度の3倍弱)。せっかく総会参加票を送付いただいても、それが活かされないことになりま

す。無効票発生の原因は、①押印漏れ、②複数の○印の記入等となっています。

理事会では、次回総会までに総会参加票（議決権行使書並びに議決権の代理行使の際の委任書）の形式について、関係機関と協議を行いながら検討を行い、無

効票の発生がないように改善を検討します。

会員の皆様も、総会参加票の記入に際しては、ご注意をお願いします。

以上